

2022年8月25日

本日、積水化成品工業株式会社(本社:大阪市北区西天満 2-4-4 社長:柏原正人)は、公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2022 日本パッケージングコンテスト」において、ジャパンスター賞の「日本貿易振興機構(ジェトロ)理事長賞」を受賞しました。

2022 日本パッケージングコンテストで

『リチウムイオン電池 100%リサイクルEPSと極限収納』が ジャパンスター賞を受賞

1. 日本パッケージングコンテスト

日本パッケージングコンテストは、時代と社会の要請に対応した、生活文化に優れたパッケージおよびその技術の開発普及に資することを目的に、その年の包装の優秀群を決定するもので毎年開催されています。第44回目となる今年、株式会社東芝様、SBS 東芝ロジスティクス株式会社様と共同出品をしました『リチウムイオン電池 100%リサイクルEPSと極限収納』が、最高峰のジャパンスター賞の「日本貿易振興機構(ジェトロ)理事長賞」を受賞しました。

2. 特長

『リチウムイオン電池 100%リサイクルEPSと極限収納』は、従来品と比べて収納数を25%向上させた上に、欧米などの包装廃棄物の特定重金属規制に準拠した100%リサイクル原料である、当社の新素材「エスレンビーズ RNW ERS」が採用され、物流コスト、CO₂削減に寄与します。「エスレンビーズ RNW ERS」は、同リチウムイオン電池用の梱包材として、2023年1月から量産予定です。



ジャパンスター賞を受賞した
『リチウムイオン電池 100%リサイクルEPSと
極限収納』

「エスレンビーズ RNW ERS」特長

- 工場内で排出されるトレーサビリティ可能なPS回収材を使用したリサイクル原料100%の環境負荷低減製品です。
- RoHS指令を準拠し、Reach規制に適合しています。
- バージン原料を使用した従来品と同程度の物性を保持しています。



3. 今後の展開

積水化成品グループは、持続可能な社会の実現に向けて、従来から注力している3R活動(Reduce、Reuse、Recycle)に、2R(Replace、Re-create)を加えた「SKG-5R」を実践し、CO₂排出量削減とサステナブル・スタープロダクト(環境貢献製品)の創出を推進しています。リサイクル原料を使用する素材の開発は、従来品と同等の性能を発現させるために、さまざまな技術的課題を解決する必要がありますが、廃棄物削減の観点から重要であると認識しています。これからも、私たちが保有するユニークな技術を活かし、事業活動を通じた環境負荷低減の取り組みを行っていきます。



私たちは、当社独自基準で、特に環境貢献度が高い製品を「サステナブル・スタープロダクト」として認定しており、「エスレンビーズ RNW ERS」は該当製品です。



リサイクル原料を活用した製品カテゴリーブランドです。

以上